

令和4年度「世界史A」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通・理数・美術	地歴	世界史A	2	必修
教科書	『世界史A 新訂版』第一学習社				
副教材	『グローバルワイド最新世界史図表四訂版』第一学習社 『詳説世界史整理ノート改訂版』山川出版社 『世界史A読本改訂版』山川出版社				

学習の目的

- 1 社会事象の歴史的な見方・考え方を身につける。
- 2 世界の歴史的な事象を学んで、グローバル化に対応する広い視野を身につける。
- 3 よりよい社会の実現のために、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

学習の目標

I 知識・技能	教科書や図説に基づいて、様々な歴史事象を理解する。
C 思考・判断・表現	学んだ個々の歴史事象の空間的・時間的なつながり把握して、そこから問題点を発見する。
E 学びに向かう力・人間性等	歴史事象と現代の社会事象との連関の中で、歴史的な課題から現代社会の諸問題の解決について考察する。

つけたい力	個々の歴史事象の関係性に気づき、歴史事象の中から課題を発見・考察し、自らの課題意識を行動に移す力。
-------	---

評価方法

	I	C	E
◇ 歴史上の基本的事項を理解している。	○		
◇ 歴史事項の関係性を理解している。		○	
◇ 歴史事象を、多様な視点から説明できる。		○	
◇ 歴史事象に対して、自らの考え解釈することが出来る。			○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ テキストをしっかりと読み込んで、重要事項の理解を深め、歴史の流れをきちんと理解する。
- ◇ 「なぜ」という視点を常に意識して学習に臨む。
- ◇ 図説の地図等を利用して、歴史事象の横のつながりを理解する。
- ◇ 宿題プリントを利用して、復習をしっかりと行う。
- ◇ 新聞やニュースを見て世界の出来事に関心を持ち、世界史との関係を考える。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	序章 文明のはじまり 第3章 一体化に向かう世界 第4章 アジアの繁栄と世界	人類の進化と、世界各地への分散・定住の過程を理解する。 ヨーロッパがアジアとの直接交易を目指して大航海に乗り出し、地球規模での穀粒と一体化が進んだことを理解する。この一体化と平行して、主権国家の体制の成立など、ヨーロッパで近代国家への歩みが始まったことを理解する。 17世紀以降、ヨーロッパ諸国がアメリカ大陸やアジアで争い、植民地を拡大していったことを理解する。		○ヒトはなぜ誕生したのか、また文明の発生とは人類の歴史に何をもたらしたのだろうか。 ○大航海時代やルネサンスは歴史上どのような意味があるのか。	○	○	○
	5				○宗教改革がヨーロッパ近代個人主義のルーツとされるのはなぜか。 ○主権国家が近代国家の原型とされるのはなぜか、またそれはどのような背景の元で成立したのか。	○	○	○
	6			期末考査 ○ヨーロッパが17世紀以降、植民地戦争を繰り返していったのはなぜか。 ○イギリスがいち早く議会政治を確立していったのはなぜか。	○	○	○	
	7			○17世紀が科学革命の世紀と呼ばれるのはなぜか。またその背景とは何か。 ○18世紀後半になぜイギリスで産業革命が起こったのか、またそれは我々の社会に何をもたらしたのか。	○	○	○	
第2学期	9	第5章 19世紀の世界の一体化と日本 1節 産業革命と工業化社会の成立 2節 アメリカ独立戦争 3節 フランス革命とナポレオン戦争 4節 ウィーン体制とその崩壊	大西洋革命と呼ばれる市民革命と産業革命が、民主主義と資本主義経済をヨーロッパにもたらし、国民国家の形成が始まったことを理解する。 ナポレオン失脚後の保守反動体制が、ヨーロッパ各国における国民主義・自由主義運動の高まりの中で崩壊していったことを理解する。		○アメリカ独立が独立革命とされるのはなぜか。 ○フランス革命が典型的的市民革命とされるのはなぜか、またそれによって生まれた「国民国家」とは何か。	○	○	○
	10			中間考査 ○ナショナリズムとはそもそもどんな思想か、また「国民国家」がヨーロッパ全体に広がっていったのはなぜか。 ○社会主義とはどんな思想か、またなぜ生まれたのか。	○	○	○	
	11			期末考査 ○世界の辺境に過ぎなかったアメリカが世界の覇権国家になっていったのはなぜか。またアメリカで黒人の差別問題が今日まで続いているのはなぜか。 ○19世紀の文化はどんな特徴をもっているのか。	○	○	○	
	12	5節 ヨーロッパ国民国家の発展 6節 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 7節 東アジアの変容と日本の近代化		イタリア・ドイツの統一やヨーロッパ各国における近代的制度の導入で、国民国家の形成が進む一方、資本主義の発達には列強の利害の衝突を生み出し、19世紀末から20世紀初めには列強の植民地獲得競争が激化し、第一次世界大戦へつながっていった過程を理解する。 欧米諸国との衝突と植民地化を経験したアジア各地では、いち早く近代化を成し遂げた日本を手本に近代化と独立を目指す運動が起こったが、列強により押さえ込まれていったことを理解する。		○オスマン帝国とはどんな「国」だったか。また19世紀以降崩壊に向かったのはなぜか。 ○インドや東南アジアが欧米諸国によって植民地化されていったのはなぜか。	○	○
第3学期	1			学年末考査 ○中国が欧米諸国によって侵略されていったのはなぜか、またそれによって東アジア全体にはどのような影響が及んだのか。 ○19世紀末以降の帝国主義と	○	○	○	
	2	○帝国主義の時代に欧米諸国はどのような動きを見せたのか、特にどのようにして第一次世界大戦の構図がつけられていったのだろうか。		○	○	○		
	3	○欧米諸国の侵略に対して、諸地域の人々はなぜ抵抗運動を起こしていくのだろうか、またそれは歴史をどう変えていったのだろうか。		○	○	○		

※行事等で変更になる場合があります。